

モータ・パワエレ・水素エネルギー研究会

新製品・新技術開発力の強化を支援します

背景

現在、自動車の電動化拡大や省資源・省エネルギー・低炭素化・快適性・安全性などのニーズの高まりにより、多くの自動車用部品が電子制御化されています。また、将来のエネルギーとして期待されている水素を燃料とした燃料電池車も実用化されてきました。これら最新技術の開発は、自動車メーカーやTier1企業、大手エレクトロニクスメーカーなどが中心となり先を争って進めています。その技術を支える要素部品については、専門性や独自技術を持つ中小企業が担っているケースが多くなっています。自動車メーカーやTier1企業は、開発型中小企業の有する独自技術には大いに期待しています。

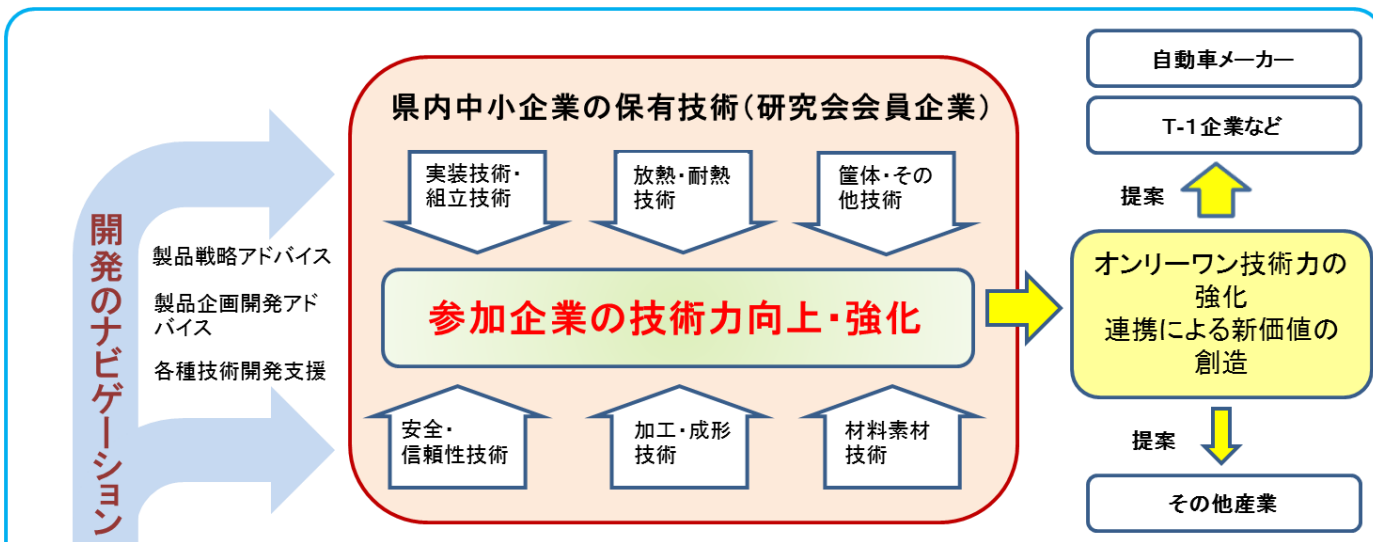
次世代自動車支援センター埼玉(自動車産業部会)では、このような開発環境の変化をチャンスと捉え、成長発展するための新製品・新技術開発に積極的にチャレンジしている県内の中小製造企業に対して、中長期的な視点で技術開発力の強化を支援いたします。

モータ・パワエレ・水素エネルギー研究会の狙い

進化する様々なモータやパワーエレクトロニクス関連製品、水素エネルギー活用の周辺要素技術に注目して、会員企業の独自技術力の強化と高度化を狙います。

支援体制

専門的な技術開発アドバイザーと協力して参加企業の技術開発をナビゲートいたします。



コーディネート：「次世代自動車支援センター埼玉」

開発アドバイザー
(川下メーカーなど)

大学・研究所など
自動車メーカー・T-1企業・デバイスメーカーなど(川下メーカー)
公設研究機関(埼玉県産業技術総合センター)など

ニーズの探索

(センター主導で推進)

成長チャンスとなる方向性を模索し、技術ニーズを探索して関連情報を提供する

《施策》

- ・講演会(セミナー)
- ・企業見学会、体験会
- ・ベンチマーク(部品分解・車両分解)
- ・アドバイザーとの技術ディスカッション(研究会)

シーズの実用化支援

(主体は各企業 センターはアシスト役)

各社の技術シーズの成長・強化をアシストする

《施策》

- ・連携先の発掘(産学官連携など)
- ・各社個別技術力強化の支援
- ・開発資金の援助(サポイン、県補助金など)

《支援内容》

技術開発戦略策定支援
(ターゲットと開発技術の絞込み)
開発テーマ設定支援

情報
提供

技術の
具現化

得意技術(強み)と不足技術(弱み)の認識
外部環境(機会と脅威)の把握

《現状把握・方向性検討》
技術開発戦略の方向性把握
各企業の基礎技術力の強化

意思決定
アドバイス

《戦略策定》
技術開発戦略ターゲットと
強化すべき技術を明確化

(参加企業の技術開発の狙いどころを明確化)

(各企業の取組 センターはアドバイス役)

技術開発戦略策定アドバイス

【ニーズの探索】

会員企業の成長の方向性や技術ニーズ探索のため、セミナーや見学会、専門家とのディスカッションなどを通じ、様々な関連技術情報を提供します。

【技術開発戦略策定アドバイス】

会員企業個々の強みや弱みを見つめ、変化の激しい外部環境に立ち向かえるよう、技術開発戦略の方向性策定についてアドバイスします。

【シーズの実用化支援】

開発主体となる各参加企業の様々な技術開発の進捗状況に合わせて個別に展開計画を設定し、中長期的視点できめ細かい支援をいたします。

(公財)埼玉県産業振興公社「次世代自動車支援センター埼玉」

(担当窓口：黒田) e-mail: jidosha@saitama-j.or.jp

338-0001さいたま市中央区上落合2-3-2 新都心ビジネス交流プラザ3F

TEL 048-621-7051 FAX 048-857-3921 <http://www.saitama-j.or.jp/jidosha/>

問合せ・申込先

参 加 申 込 書

モータ・パワエレ・水素エネルギー研究会

企業名	参加者氏名 (ふりがな)
所在地 〒	e-mail:
TEL	参加者氏名 (ふりがな)
FAX	e-mail:
	参加者氏名 (ふりがな)
	e-mail: